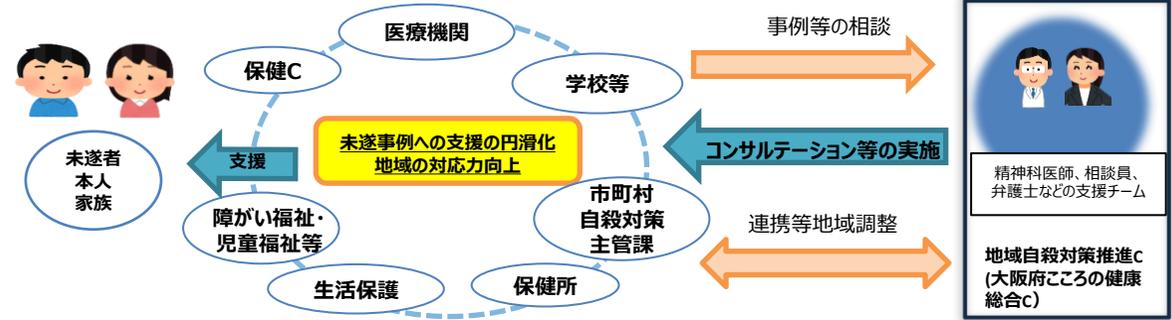


目的

自殺者数が増加傾向にある若年層に対する自殺予防の一環として、自殺未遂歴や自傷行為等のあるハイリスクな若者の支援を強化することで、自殺者数の減少をめざす。

事業概要

若者の自殺未遂支援事例について、保健所や市町村、教育機関等、地域の関係機関のみでは対応に苦慮する事例のうち、特に近年自殺未遂者の増加が顕著な高校生・大学生等の支援者を対象に、精神科医師や弁護士等、多職種の専門家がチームとなり、関わり方等についてコンサルテーション実施するとともに、地域における対応力を向上をめざす。（令和5年度より事業開始）



実績

【R6年度】 相談11件 うち支援実施9件（コンサル8件、勉強会1件）
 【R7年度（4～10月）】 相談8件 うち支援実施6件（コンサル5件、勉強会1件）

1 コンサルテーション

○依頼元機関数

	R6年度	R7年度 (4~10月)	備考
保健所	2	0	高校生・成人
市町村	2	1	中学生
小・中学校	0	4	
高等学校	3	0	
大学	1	0	

○参加者数(所属)

所属	R6年度	R7年度 (4~10月)
保健所	10	2
市町村	17	2
教育関係機関	28	22
その他	7	1

○参加者数(職種)

職種	R6年度	R7年度 (4~10月)
相談員	7	2
ソーシャルワーカー	10	2
保健師	9	1
教員	24	21
事務職	2	0
その他	10	1

2 勉強会

○勉強会参加者数

所属	R6年度	R7年度 (4~10月)
教育関係機関	52	27

○勉強会内容等

- ・精神科医による講義
- ・若者の心理特性、自傷(未遂)行為の背景、精神疾患などについて

自殺未遂に至った背景・状況等

- ・小・中学校時からリストカットや市販薬の過量服薬などの自傷行為が続いている。
- ・漠然とした希死念慮が続いている。
- ・家庭や学校に安心できる居場所がない。
- ・本人の発達特性などが疑われる。
- ・本人・家族の拒否等により、適切な相談や治療につながっていない。
- ・経済問題があり、生活面が安定していない。
- ・家族も精神的に不安定である。

【本人の属性】

	R6年度	R7年度 (4～10月)
小・中学生	2	4
高校生	4	0
大学生	1	0
無職者	1	0

*属性が特定出来ないものは含まず

コンサルテーションの内容

- ・繰り返す自殺企図（自傷行為）をどのように理解すればいいか。
- ・本人のとっている自傷行為のリスクアセスメントについて。
- ・自傷行為の事実や医療機関への受診についてどのように保護者に伝えるのがいいか。
- ・支援体制（地域・学校）をどのように作るのがよいか。
- ・医療へのつなぎ方について。
- ・自殺未遂に至った背景にある経済的な問題について、法的知見の助言

【助言者】	R6年度	R7年度 (4～10月)	【助言内容】	R6年度	R7年度 (4～10月)
精神科医	7	4	医療受診	4	3
弁護士	1	0	症状の理解	7	5
相談員	0	1	本人への支援について	3	5
			学校の対応について	9	5
			家族への支援について	3	4
			今後の支援について	3	5
			支援者のメンタルヘルス	0	1

直後アンケート結果

コンサルテーション終了後直後に参加者に実施。

対象：R6年度からR7年度（4～10月）コンサルテーション参加者89人の内、回答者数（N：84）

①コンサル内容の理解

よく理解	60
おおむね理解	24
あまり理解できなかった	0
全く理解できなかった	0
無回答	0

②自殺未遂者への支援について理解できたか

よく理解	43
おおむね理解	40
あまり理解できなかった	1
全く理解できなかった	0
無回答	0

③コンサル内容は業務に役に立つか

とても役に立つ	61
おおむね役に立つ	22
あまり役に立たない	0
全く役に立たない	0
無回答	1

コンサルテーション実施後3か月アンケート結果

本人・家族に直接支援している支援者のみ実施後3か月後アンケートを実施。

対象：R6年度に本人・家族に直接支援している支援者(N:32)

1. 所属		
保健所		2
市町村		7
教育関係機関		19
その他		4

2. 職種		
相談員		2
ソーシャルワーカー		5
保健師		5
教員		16
事務職		2
その他		2

3. アンケートの結果

① 支援者の困りごとの解消について

改善(解消)した	8
やや改善(おおむね解消)した	16
変わらなかった(解消しなかった)	7
その他	1

* 令和7年度4月以降実施のアンケートより一部文言等変更

- ・自分の対応に自信を持つことができ、気持ちが少し楽になった。
- ・具体的な対応についての知識が増えた。
- ・医療機関を調整するためのポイントが理解できた。
- ・学校内の連携だけでなく関係機関の連携の重要性が再認識できた。
- ・支援者同士で共有できるようになり、関係機関の支援体制の構築につながった。(変わらなかった理由として)
- ・困りごとは解決した訳ではないが、対応の仕方や支援の方向性が理解できた。
- ・1回のコンサルでは改善までには至らない。

② 支援者としての意識の変化について

変化があった	7
やや変化があった	16
変わらなかった	6
その他(未回答)	3

- ・本人の状態像や行うべき事が分かり、支援の方向性が見え、安心した。
- ・希死念慮のある学生の対応はチームで実施するという意識が生まれた。
- ・知識が増えたことで、落ち着いて対応できるようになった。
- ・現状の関わり方を冷静に客観的に振り返って、支援のありかたを整理する機会になった。(変わらなかった理由として)
- ・直接支援をしなくなった・関わる機会が減った。
- ・1回のコンサルでは意識の変化までは難しい。
- ・今までどおりで良いと思えたので。(気持ちが少し楽になった)

③ 支援(かかわり方)の変化について

変化があった	2
やや変化があった	6
あまり変化がなかった	3
変化がなかった	1

* 令和7年度4月以降実施のアンケートからの追加項目(N:12)

- ・関係機関と連携して対応できるようになった。
- ・客観的な視点でも支援することができるようになった。
- ・専門家の助言により、自身の支援状況などを冷静に判断できるようになった。
- ・知識が増えたことで、伝える内容が専門的な根拠を持つことができた。
- ・支援関係者より具体的な協議を行うことができた。
- ・本人の心情に寄り添えるような言葉かけや配慮ができるようになった。(変化がなかった理由)
- ・直接支援を行っていない。(3か月後に関わる立場でなくなった)
- ・役割を分担することで、直接かかわることが少なくなった。

④ 支援者自身の変化以外にコンサルを受けたことによる変化

* 令和7年度4月以降実施のアンケートからの追加項目(N:12)

- ・所属において、面接の方針を細かく決めることをこころがけるようになった。
- ・関係機関との連携が密になった。
- ・関係機関の支援体制の構築につながった。
- ・支援者を取り巻く関係機関が増えたと考える。
- ・現状の関わり方を、冷静に客観的に振り返れるようになった。

⑤ 若者の自殺未遂者を地域で支援するために必要なこと

- ・些細な変化に気づくことができるように声かけなど日頃のコミュニケーションと安心安全な居場所の確保。
- ・見守りできる周囲の支援者のつながりと情報共有。
- ・細くてもつながり続け、関係性を諦めずに築きSOSをキャッチすること。
- ・自殺対策研修体制、啓発研修体制の充実。
- ・福祉、教育、医療等の多機関の支援。
- ・地域の様々な関係機関が各々の得意分野や支援策を最大限に発揮し支援者やその家族等に積極的に関わっていくこと。
- ・支援担当者が疲弊しないためのスーパーバイズや必要時に専門家の助言を受けられる仕組みづくり。

効果

- 精神科医からの助言を受ける機会の少ない支援者が、医療者の視点で見立てや対応への助言を受けたことにより、症状の理解や本人理解が進んだ。
- 外部の専門家からの助言で、新たな視点でこれまでの支援について振り返ることができ、本人を取り巻く環境についても整理が進んだ。
- 先の見通しが立つことで、支援者の不安が軽減するとともに、これまで行ってきた支援の良い点について正しく評価されることで、自信をもって関われるようになった。
- 教職員の間で未遂をする生徒、学生への支援についての意識がさらに高まり、専門家を交えた校内勉強会の開催につながった。
- 本人を取り巻く支援機関が支援の方向性を共有して役割分担を行うことで顔の見える関係を構築するきっかけとなった。

課題

- 1回のコンサルテーションや支援者の支援で解決しない場合もある。
- 学校や市町村など、対応に苦慮している支援者に向けて本事業を広く周知する事がある。

本人理解の深化

自傷行為等への
理解の深化

心理的負担の
軽減

支援体制の強化
連携体制・関係構築

事業の周知

方向性

- 3か月後に実施するアンケートのフォローアップや、支援者が円滑な連携が図れるよう情報提供を行うなど必要な機関に繋がるよう調整を図る。
- 支援者支援のスキームや実際の相談内容等を記載したリーフレットを活用し、自殺対策の担当課や教育庁等関係機関・関係部局との連携を図り、本事業のさらなる周知を図っていく。
- 支援者が求める自殺未遂者への対応などの理解促進を目的に、自殺対策研修にチーム事業で出た課題の内容を反映させていく。